

建設位置と交通アクセス

基本計画：3-2 交通アクセス、6-2 配置計画より

①建設位置

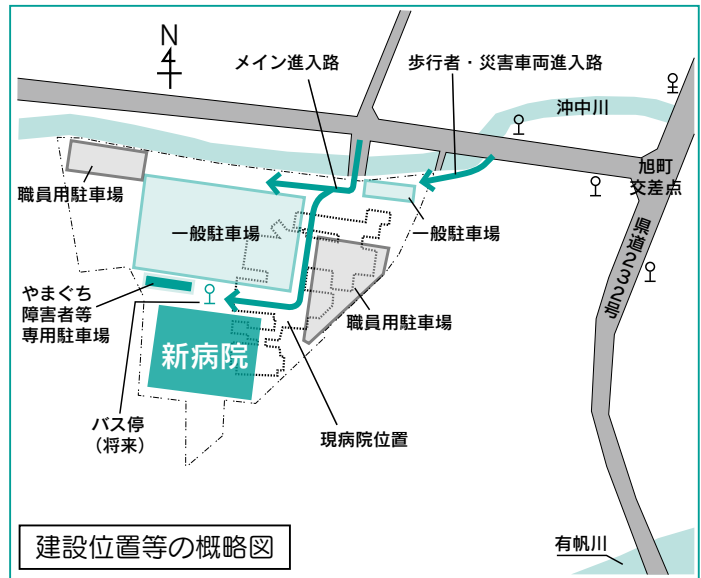
- 現病院の南側に建設します。

②交通計画

- 現病院入口を引き続き利用します。
- 将来的に建物玄関までバスの乗り入れを目指します。

③駐車場計画

- 一般用と職員・業務用を明確に分離し、一般用駐車場 204 台(身障者等優先駐車スペースを含む)を確保します。
- やまぐち障害者等専用駐車場 9 台を確保します。
- 駐車場の出入場管理が行える計画とします。



防災計画・減災計画

基本計画：4 章 防災・減災計画、6-5 構造計画より

①地震対策

- 建物は、市内で想定される地震に耐え得る設計を行います。

②液状化対策

- 建物の基礎は、液状化範囲よりも深い抗基礎で支持することにより、建物への影響を防ぎます。

③津波・高潮対策

- 計画地での津波の高さは最大 2.0 ~ 3.0 m と想定されていますが、有帆川沿いの市道は 4.5 ~ 5.0 m の高さがあり、津波に対する堤防になります。

- 新病院 1 階の床面の高さは、周囲より 1 m 程度高くして浸水を防ぎます。
- 万一に備え、電気室・サーバー室等の重要機能は建物の 2 階以上に配置します。

④建設地内の古洞対策

- 地質調査の結果、古洞が発見された場合には、モルタル等の注入にて空洞を充填する特殊基礎工事により地盤の補強を行います。

⑤ HCP (医療継続計画) の策定

- 災害時でも病院機能を継続するため、HCP を策定し、あらゆるリスクへの対応を明確にします。

施設整備方針

基本計画：6-4 アメニティ計画より

- わかりやすく・使いやすい施設計画。
- 患者を動かさず職員が動く、シンプルな動線。
- 患者・家族のプライバシーへの配慮。
- 職員動線との明確な分離、個室を充実。
- 患者の安全確保。
- 観察しやすいレイアウト、防犯面への配慮。
- 快適な病院空間の形成。

新病院建築概要

基本計画：6-1 建築概要より

①構造

- 鉄骨造

②階数

- 地上 8 階

③床面積

- 16,125㎡ (現在のほぼ 1.3 倍)

④駐車場

- 平置き 367 台

⑤災害時ヘリ離発着場

- 職員駐車場を転用

